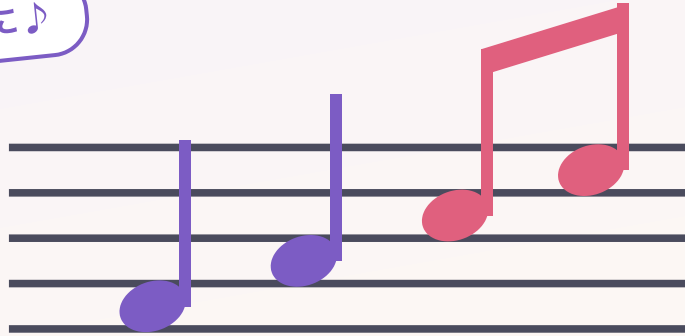


元気に♪



アレンジしてみよう!

アレンジ入門

知っている曲を、自分らしく作り変えよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

アレンジの基本	3～9
アレンジの技	10～15
作品にする	16～19
練習しよう	20～24
ふり返し	25～30

アレンジの第一歩は、もとの曲をよく知ることです。

アレンジする前の、もとの曲

変える前の、メロディや構成の形

- 原曲のメロディ・テンポ・雰囲気を知っておくと、何を変えたかがはっきりします。
- 原曲の魅力を理解してこそ、良いアレンジが生まれます。

1. アレンジしたい曲を1つ決めて、何回か聴いてみよう。

楽器とテンポを変えるだけで、印象は大きく変わります。

5

リズムを変えると、曲のノリが変わります。

A musical staff with four notes. The first two notes are quarter notes (represented by a vertical line and a dot) and are labeled 'タン' (tan). The last two notes are eighth notes (represented by a vertical line, a dot, and a flag) and are labeled 'タ' (ta).

ポイント

- やってみよう

書いて覚えよう

調を変えると、歌いやすさや雰囲気が変わります。

key

曲の音の高さの基準となるならび

modulation

曲の途中や全体で、調を変えること

- 曲全体を高くすると明るく、低くすると落ち着いた印象になります。
- 自分の声の高さに合わせて調を変えると、歌いやすくなります。

1. 知っている曲を、いつもより少し高い声で歌ってみよう。

音を重ねると、響きが豊かになります。

- メロディに、3度上や3度下の音を重ねると、ハーモニーがつけます。
- 簡単な2部合唱のように、2つの声で重ねて歌うこともできます。

1. 友だちや家族と、同じメロディをちがう高さで同時に歌ってみよう。

ワンポイント 最初はずれても大丈夫。何度か合わせるうちに、重なりが心地よくなります。

始まりの部分に、新しいアイデアをつけ足せます。

- イントロは、これから始まる曲の雰囲気を伝える大切な部分です。
- サビの一部を使ったり、静かな音から始めたり、工夫はいろいろあります。

やってみよう

1. アレンジする曲に、短いイントロを1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

11

ジャンルを変えると、曲はまったく別の顔になります。

子守歌ふう

12

合奏用アレンジ

みんなで演奏できるように、役割を分けましょう。

役割	楽器の例
メロディ	リコーダー、鍵盤ハーモニカ
伴奏（和音）	鍵盤楽器、ギター
リズム	打楽器全般

ポイント

- 人数や楽器に合わせて、役割を柔軟に分け合いましょう。

やってみよう

1. クラスの仲間で合奏するとしたら、誰にどの役割を頼むか考えてみよう。

書いて覚えよう

声を重ねると、曲に厚みが生まれます。

ポイント

- 同じメロディを全員で歌う「斉唱（せいしょう）」から、声部を分ける「合唱」へ発展できます。
- 高い声・低い声に分かれるだけでも、響きがぐっと豊かになります。

やってみよう

1.2人で、同じ歌をわざと少しずらして歌い始める「輪唱」をしてみよう。

書いて覚えよう

アレンジの楽譜を書く

変えたところは、楽譜に書き残しておきましょう。

アレンジしたメロディの例



もとのメロディの音を分けたり、長さを変えたりした部分を、楽譜に書いておきます。

ポイント

- **すべてを書き直さなくても、変えた部分だけメモしておけば十分です。**

やってみよう

1. 自分のアレンジで変えたところを、ひとこと書いておこう。

書いて覚えよう

アプリを使うと、いろいろな組み合わせを気軽に試せます。

アプリでできること

楽器の音色を変える

テンポを調整する

ハーモニーを重ねる

リズムパターンを足す

手やアプリで難しい組み合わせも、何度でも試して聴きくらべられます。

やってみよう

1. 家にある音楽アプリで、1曲の楽器や速さを変えて聴きくらべてみよう。

ワンポイント アプリを使うときは、大人といっしょに使い方や利用時間を確認しましょう。

書いて覚えよう

アレンジを聴きくらべる

元の曲とアレンジをくらべると、工夫が見えてきます。

くらべるところ	原曲	アレンジ
テンポ	_____	_____
楽器	_____	_____
雰囲気	_____	_____

やってみよう

1. 自分がアレンジした部分を、原曲と聴きくらべて表にまとめよう。

書いて覚えよう



自分でアレンジすると、その曲がもっと好きになった気がする。



同じ曲なのに、全然ちがう曲みたいに聴こえるね。

- 発表のときは、「どこを、どう変えたか」を一言伝え、聴き手も楽しめます。

1. 自分のアレンジを、家族や友だちに聴いてもらおう。

著作権と編曲の注意・アレンジの楽しみ

ルールを守って、アレンジを楽しみましょう。

アレンジで気をつけること

著作権が切れた曲を選ぶ

学校の授業や家庭内の範囲で楽しむ

公開するときは大人に相談する

今も著作権が続いている曲は、作った人や会社の許可が必要な場合があります。童謡・唱歌・民謡など、著作権が切れた曲から始めると安心です。

ポイント

- ルールを守ることは、曲をつくった人への敬意でもあります。
- アレンジは、曲との新しい出会い方。自分らしい形を、これからも楽しんでいきましょう。

書いて覚えよう

20

アレンジしりとりで、発想を広げましょう。

アレンジしりとりで、発想を広げましょう。

B (実演)

- Aがお題を出し、Bがその場でアレンジして歌う・演奏する遊びです。
- 交代しながら、いろいろなアレンジのアイデアを試してみましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

何を変えればいいかわからない

アイデアが出ない

変えすぎて原曲がわからなくなる

元の良さが消える

1人ではむずかしい

楽器や声が足りない

コツ

こうしてみよう

1つだけ変える

テンポかリズムから

原曲を時々聴き直す

軸を忘れない

家族や友だちと分担する

無理せず楽しむ

ポイント

- できないところは、1つずつ小さく試して練習しましょう。

やってみよう

1. あなたがアレンジでつまずきやすいことは？ _____

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

アレンジの基本

☐ アレンジ（編曲）

曲の姿を作り変えること

☐ 原曲

アレンジする前のもとの曲

☐ 調

曲の音の高さの基準

変える要素

☐ テンポ

曲の速さ

☐ リズム

音の長さや休みの組み合わせ

☐ ハーモニー

音の重なり

曲の部分

☐ イントロ

曲の始まりの部分

☐ エンディング

曲の終わりの部分

☐ 伴奏

メロディを支える演奏

まとめる力

☐ 合奏

楽器を合わせて演奏すること

☐ 合唱

声部を分けて歌うこと

☐ 著作権

作った人が持つ権利

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、アレンジの工夫も説明しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

アレンジ	●	● ア. 調を変えること
原曲	●	● イ. メロディを支える演奏
転調	●	● ウ. 曲の姿を作り変えること
伴奏	●	● エ. 作った人が持つ権利
著作権	●	● オ. アレンジする前のもとの曲

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. 曲の途中や全体で調を変えることを [] という。 _____
2. 音を重ねて響きを豊かにすることを [] という。 _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 曲の姿を作り変えること → (アレンジ / 作曲)
2. 作った人が持つ権利 → (著作権 / 演奏権)

書いて覚えよう

好きな曲を少し速いテンポで歌う

1曲を別の楽器で演奏したら？と想像する

知っている歌のリズムを変えて歌う

アレンジのアイデアをメモする

アレンジノートに1行書く

家族に自分のアレンジを聴かせる

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

発表してみよう・感想を書こう

作り変えた曲を、人に伝えてみよう。

原曲

変えたところ

工夫したところ

聴いてほしい人

Ken の例

原曲 ふるさとの歌／変えたところ テンポを速くし、打楽器を加えた／工夫したところ サビで手拍子を重ねた／聴いてほしい人 おじいちゃん

感想を3文で書こう

① このアレンジは、～な感じになりました。② とくに、～のところを工夫しました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

アレンジ入門チャレンジ

教室の外でも、アレンジはすぐに楽しめます。

聴こう

同じ曲の**ちがう演奏**を1つ聴く

変えよう

知っている歌の**テンポ**を変えて歌う

伝えよう

変えた歌を**家族に聴かせる**

こたえ

L26 アレンジ→ウ 原曲→オ 転調→ア 伴奏→イ 著作権→エ 2. 転調 / ハーモニー 3. アレンジ / 著作権

L33 (例) アレンジは、もとの曲を生かして新しい表情をつけること。

書いて覚えよう

アレンジ入門 (Season 8 | No.76)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。